X-LOUPE G-SERIES

注意事項

△!警告 — 火災、電気ショック、重度の人身災害の防止の為ご使用いただく前に、取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 全部品を含む本品は、幼児の手の届かないところに置いて下さい。万が一危険な状況が発生した場合は、すぐに医師の診断を受けて下さい。
2. 本品は、直射日光および強烈なライトを長時間当てないで下さい。
3. 本品は、水およびその他の液体に接触させないで下さい。製品が湿ったり濡れた状況で使用を続けますと、火災や感電を引き起こす可能性がありますので、すぐに本品全ての電源をオフにし、電池を取り出し、電池用充電器や小型電源アダプターを抜いて下さい。
4. 電池を熱源付近に置いたり、火の元や高温の環境に近づけないで下さい。
5. 電池を解体したり、改造したり、熱を加えたりしないで下さい。電池外殻が破損する恐れがありますので、電池に大きな衝撃を与えないで下さい。
6. 万が一、電池内部の化学物質が漏れ、顔や身体または洋服に付着した場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けて下さい。
7. 電池の端子部分を金属又は磁気性の物質に接触させないで下さい。端子と直接接触した物体により、火災や爆発、損傷が起こる恐れがあります。
8. 電池を破棄する際は、テープなどで端子部分を包んでください。端子と直接接触した物体により、火災や爆発、損傷が起こる恐れがあります。

△!注意 — 不安定な取扱についての注意警告（※人身事故や物品破損、金銭の損失ならびに製品の故障を招く可能性のある潜在的な危険環境について）

1. 本品使用にあたり、強い衝撃や振動を与えたり、レンズに大きな圧力加えることは避けて下さい。
2. 本品を強い直射日光に当てたり、高温の場所で使用、放置、保管することは避けて下さい。
3. 風通しが悪い場所での使用は避けて下さい。漏電、過熱、爆発ならびに火災、火傷、その他事故を引き起こす恐れがあります。
4. 使用を終えた、または長期的に使用していないカメラならびに充電器内からは、電池を取り出し、製品は安全な場所に保管して下さい。また、電池の不適正な使用は、電池寿命を低下させます。
5. 当社の使用する電池はCanon充電器専用です。その他メーカーの充電器には使用しないで下さい。故障、過熱、火災、電気ショート、損傷を引き起こす恐れがあります。
6. 本品を短時間で低温から高温の場所へ移動させる場合は、本品を密封式のビニール袋に入れ、徐々に周囲の環境温度に慣らしてください。内部や表面に水分が凝結（水滴）し、トラブルを引き起こす恐れがあります。

この説明書は大切に保管し、今後も引き続きお役立てください。

★本品は台湾(新型第M292708号、新型第M313792号、新型第M315340号、新型第M315345号)、アメリカ、中国ドイツ(Nr. 202006001999.5)、日本(登録第3120470号)で既に特許を申請しております。

★この説明書内の製品の写真は参考のもので、実際の製品とは異なります。

★製品のデザイン・仕様・価格等などは予告なく変更することがあります。

Lumos Japan Inc.

株式会社ルーモスジャパン

東京都港区虎ノ門1-5-8オフィス虎ノ門1ビル9F

03-3509-6431 www.lumosjapan.com

X-LOUPE G-SERIES

各部名称及び充電池の取り扱い

裏面

調整ダイヤル

同軸ライト切り替え

ライト設定切り替えボタン
（同軸ライト輝度/フラットライト輝度/フラットライト角度

LCD モニター

充電池使用量

角度切り替え表示

同軸ライト(メイン)種類の表示
W: ホワイトライト
F: 特殊ホワイト/ホワイトライト

同軸ライト：明るさ0～5

フラットライト：明るさ0～5

側面

同軸ライト切り替えボタン
W: ホワイトライト
F: ホワイトライト/特殊ライト切り替え（オプション）

電池の充電および注意事項

1. 電池(NB5L)上の矢印をキャノン充電器の上の矢印に合わせた後、矢印の方向に挿入する(イラスト参照)
2. 充電器にソケットを挿入。このときに充電器の正面にライトが点灯するのを確認する。
（オレンジは充電中、グリーンは充電完了または充電不要）
3. 充電器にソケットを挿入した際ライトが点灯されない場合次のことを確認する。
   - a.電池が正しく挿入されてるか？
   - b.ソケットのスイッチが入ってるか？
   - c.ソケットの電源はちゃんと供給されているか？
   - d.原因が不明な場合は取り扱い専門店にご相談ください。
4. 充電終了後電池を取り出す。
5. 湿度の高い場所での充電器のご使用はさけてください。

X-LOUPE G-SERIES

ライトセッティング

XループGシリーズのマクロレンズライトは、同軸ライト(メイン)及びフラットライト(サブ)の2種類に分かれています。同軸ライトは内ループ、直射ライト、8個のLED配備となっています。一方、フラットライトは外ループ、低角度ライト、8個のLED配備となっています。個別にライト輝度の調整が可能で、その数値は0~5です。出荷時に同軸ライト及びフラットライトは全てオンになっており、明るさはいずれも5に設定されています。

ライティング切り替えスイッチ

【●】同軸ライト(メイン)選択
【○】フラットライト (サブ)選択
【⊕】フラットライト (サブ)アングル調節選択

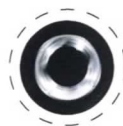
調節ボタン

同軸ライト(メイン)、及びフラットライトの(サブ)の明るさ調節が可能で上方向で明るく、下方向で暗く、押し込むと明るさ3になります。また、フラットライトのアングル切り替えボタンにもなります。押し込むと「左上右上」となります

同軸ライト(メイン)の種類切り替えボタン

三種類のセッティングに切り替え可能
W(ホワイトライト)、F(特殊機能ライト)、W+F(ホワイト+特殊機能ライト)
※特殊機能ライトは追加オプション販売で出荷時はホワイトライトLEDとなっています。特殊ライトには赤外線や紫外線仕様などがあります

従来の顕微鏡撮影では映像が撮影できることだけで、その品質まで要求されていませんでした。本製品では同軸ライトとフラットライトの二種類を搭載し、その組み合わせにより数十種類の照明パターンを選択することができ、ユーザーがさまざまな物体を撮影する際に多彩な陰影のコントロールが可能になり優れた効果を発揮します。以下基本操作を参考ください。

(1)同軸ライト(メイン)をオンにし、フラットライト(サブ)をオフにする。					
手順	1	2	3	4	5
選択	ライト設定切替ボタン	調節ボタン	ライト設定切替ボタン	調節ボタン	同軸ライト(メイン)種類切替ボタン
写真解説					W UV W+UV
説明	フラットライト(サブ)を選択。	フラットライト(サブ)がオフになるまで押し下げる。	同軸ライト(メイン)に切替。	液晶モニターを見ながら明るさを調整1~5段階。	ホワイトライトもしくは特殊ライト、及び両方の同時点灯。(特殊ライトはオプション通常は4個か8個かの切替)

この写真は4個のホワイトライトLEDが点灯してる状態です。

※同軸ライト(メイン)は4個のホワイトライトと、4個の特殊ライトに付け替え可能です。

(2) フラットライト(サブ)をオンにし、同軸ライト(メイン)をオフにする。						
手順	1	2	3	4	5	6
選択	ライト設定の切替ボタン	調節ボタン	ライト設定の切替ボタン	調節ボタン	ライト設定の切替ボタン	調節ボタン
写真解説						
説明	同軸ライト(メイン)を選択	液晶モニタを見ながら明るさを0に調節	フラットライト(サブ)に切替	液晶モニタを見ながら明るさを調節 1~5段階	フラットライト(サブ)アングル調節を選択	アングルの選択

(3) フラットライト(サブ)をオンにして9種類のライトアングルの設定と効果。			
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライト 4つすべて あまり立体的ではなく平面の被写体向き
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライト2つオン 被写体の右上と右下
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライト2つオン 被写体の右下と左下
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライト2つオン被写体の左上と左下
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライト2つオン被写体の右上と左上
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライト1つオン被写体の右上
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライト1つオン被写体の右下
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライト1つオン被写体の左下
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライト1つオン被写体の左上
		W • F MAIN 5 SUB 3	フラットライトすべてオフ

X-LOUPE G-SERIES

取り付け方法及び撮影方法

カメラを左の図の用にXループ本体にはめ込んでください。

カメラの左端と底部がきちんとXループ本体と一体化されていることを確認してください。

Xループ本体底部のネジ穴の真上にカメラの三脚用ネジ穴がくることを確認して付属のネジを締めてください。

硬貨等を使用して、ネジを時計回りに強く締めて、カメラとXループ本体にがたつきが無いことを確認してください。

カメラとXループ本体を手で持ち、もう一方の手でマイクロレンズを持ちレンズの赤いマークと、Xループ本体の赤いマークを併せてください。

マイクロレンズ上部をアタッチメントに装着します。

「カチッ」と音が聞こえるまで時計回りに約45度回転させ、あまりきつく締めすぎないようにして下さい。

安全の為、がたつきや緩るみが無い事を確認してください。

さらにマイクロレンズを交換するにはまずレンズリリースボタンを押し、マイクロレンズを反時計回りに約45度回してゆっくりとレンズを取り外してください。

デジタルカメラとXループ本体を取り外す場合は、硬貨などを利用して時計と逆回りにまわして緩めてください。その際はカメラが落ちないように気をつけてください。また、固定ネジを無くさないよう大切に保管してください。

平面の被写体の撮影方法

撮影の前にレンズ先端に付属の専用カバーキャップをつけてください。

直接カバーキャップを被写体に近づけ、Xループ全体を軽く押しつけて、シャッターを半押しにすると、オートフォーカス(AF枠は緑色)によりピントが合います。そのままシャッターを押し切ります。途中ぶれないようご注意下さい。

立体的な被写体の撮影(1)

被写体の表面を傷つけてはいけない場合をのぞき、専用のカバーキャップは必須ではありません。

左図のように左手の二本の指でマイクロレンズを握り、残りの指と手のひらでテーブル面を支え、状態を安定させて下さい。上下に軽く移動して最良の撮影距離を確保します。シャッターを半押しにすると、オートフォーカス(AF枠は緑色)によりピントが合います。そのままシャッターを押し切ります。途中ぶれないようご注意下さい。

カメラ側の基本セッティング

- カメラ側のズームは望遠側。
- フラッシュはオフ。
- ピントの合いにくい被写体の場合はオートフォーカスをオフにしてカメラの前後移動でピントを合わせるようにします。

表面が立体的な物体の撮影(2)

各マイクロレンズの鏡胴はすべて反時計回りに廻して取り外せます。

鏡胴を廻し取り外してください。

鏡胴およびカバーキャップのサポートがない場合、写真のようにレンズ先端を2本の指で握り、残りの指と手のひらでテーブル面を支え、状態を安定させてください。カメラを上下に軽く移動して撮影距離を確保したらシャッターを軽く半押しにして、正確なフォーカスを確保し、それからシャッターを押し切ってください。撮影時はぶれないようご注意ください。